500g

「マルイシ」

[Maruishi]

500g

MARUISHI

500g

開封口

苦味健胃剤

センブリ・重曹散 「マルイシ」

Swertia and Sodium Bicarbonate Powder [Maruishi]

日本薬局方

センブリ・重曹散

製造販売元

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g センブリ・重曹散「マルイシ」

2014年12月改訂(第3	3版)
日本標準商品分類番号	872333
承認番号	16100AMZ01010
薬 価 収 載	1967年7月
販 売 開 始	1967年7月
再評価結果	1990年3月

貯 法:室温保存

意: 本剤は原料に天然物が含まれておりますので、その産地や採取

●禁忌(次の患者には投与しないこと)

ナトリウム摂取の制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫 妊娠高血圧症候群等)「ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化する おそれがある.1

●組成・性状

1.組成 100g中 センブリ末 炭酸水素ナトリウム 70g

及び添加物としてバレイショデンプン 含有。

淡灰黄色で、味は苦い。

■効能・効果

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

通常、成人1回0.5~1gを1円3回、経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。

慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1)重算な消化管潰瘍のある患者 「炭酸水素ナトリウムを配合している ため、症状が悪化するおそれがある。]

(2) 腎障害のある患者 [ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそれ

(4) 肺機能障害のある患者 [呼吸性アルカローシスになるおそれがある。

(5)低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者[症状が悪化 するおそれがある。]

2.相互作用

(1)併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状·措置方法	機序·危険因子
ヘキサミン	の効果を滅弱させ	ヘキサミンは酸性尿中でホルム アルデヒドとなり抗菌作用を発現
陽溶錠)	ることがある。	するが、本剤は尿のpHを上昇させ ヘキサミンの効果を減弱させる。

(2)併用注意(併用に注意すること)

本剤は制酸作用等を有しているので、他の薬剤の吸収・排泄に も影響を与えることがある。

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意

センブリ・重曹散 「マルイシ」



日本薬局方

センブリ・重曹散

センブリ・重曹散

Swertia and Sodium Bicarbonate Powder

製造販売元

苦味健胃剤

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g

500g

「マルイシ」

MARUISHI

500g

苦味健胃剤

センブリ・重曹散 「マルイシ」

Swertia and Sodium Bicarbonate Powder [Maruishi I

日本薬局方

センブリ・重曹散

苦味健胃剤

センブリ・重曹散 「マルイシ」

Swertia and Sodium Bicarbonate Powder [Maruishi |

日本薬局方

センブリ・重曹散

製造販売元

大阪市鶴見区今津中2-4-2

JAN GS1 01)1498721113491

センブリ・重曹散

製造番号

使用期限

製造販売元

大阪市鶴見区今津中2-4-2

500g センブリ・重曹散「マルイシ」

*2012年11月改訂(第2版)		
日本標準商品分類番号	872333	
承認 番号	16100AMZ01010	
薬価 収 載	1967年7月	
仮売開始	1967年7月	
再評価結果	1990年3月	

法:室温保存

使用期限:3年(表示の使用期限を参照すること。)

本剤は原料に天然物が含まれておりますので、その産地や採取 時期により製品の色調が一定しないことがあります。

●禁忌(次の患者には投与しないこと)

ナトリウム摂取の制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫 妊娠高血圧症候群等)「ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化する

●組成・性状

1.組成

100g中 センブリ末 炭酸水素ナトリウム 70g 及び添加物としてバレイショデンプン 含有。

淡灰黄色で、味は苦い

■効能・効果

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

通常、成人1回0.5~1gを1日3回、経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用 トの注意

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1)重篤な消化管潰瘍のある患者[炭酸水素ナトリウムを配合している ため、症状が悪化するおそれがある。

(2) 腎障害のある患者 「ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそ

悪化するおそれがある。〕

(4)肺機能障害のある患者[呼吸性アルカローシスになるおそれがある。]

(5)低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者「症状が悪化 するおそれがある。]

機序・危険因子 (ウロナミン ることがある。 するが、本剤は尿のnHを上昇さけ

(2)併用注意(併用に注意すること)

本剤は制酸作用等を有しているので、他の薬剤の吸収・排泄に も影響を与えることがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意

